



# 2024年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年3月4日

上場会社名 ティーライフ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西上 節也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 齋藤 正和 TEL 0547-46-3459  
四半期報告書提出予定日 2024年3月4日 配当支払開始予定日 2024年4月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年7月期第2四半期の連結業績(2023年8月1日～2024年1月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第2四半期	6,748	1.5	243	39.5	245	39.3	140	49.1
2023年7月期第2四半期	6,851	6.7	402	18.8	405	18.9	275	22.9

(注) 包括利益 2024年7月期第2四半期 147百万円 ( 45.5%) 2023年7月期第2四半期 269百万円 ( 26.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第2四半期	32.95	
2023年7月期第2四半期	64.85	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期第2四半期	8,651	6,212	71.8	1,457.50
2023年7月期	8,567	6,168	72.0	1,449.07

(参考) 自己資本 2024年7月期第2四半期 6,212百万円 2023年7月期 6,168百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期		26.00		26.00	52.00
2024年7月期		26.00			
2024年7月期(予想)				20.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2024年3月4日)公表いたしました「業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日～2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,645	1.4	622	24.3	625	26.0	380	36.5	89.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2024年3月4日)公表いたしました「業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年7月期2Q	4,262,300 株	2023年7月期	4,257,200 株
期末自己株式数	2024年7月期2Q	180 株	2023年7月期	180 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年7月期2Q	4,258,933 株	2023年7月期2Q	4,252,502 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料及び決算説明会の開催について)

決算説明資料は、本決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しております。また、当社は、2024年3月7日(木)に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や、為替の影響、ウクライナやガザ地区における地政学的リスクや能登半島地震の影響、インフレの進行等により先行き不透明な状況が続いているものの、賃上げの継続傾向やポストコロナのインバウンド需要増、外出機会増、等の要因により、消費行動に回復の動きが見られる状況にあります。

小売、卸売業界におきましても、人流の回復による店舗業績に回復傾向がみられるものの、在宅需要の減少傾向や、継続するエネルギー価格や原材料価格高騰による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、当社グループは安定的かつ継続的な成長と企業価値の向上を目指し、「進化するウェルネス&ライフサポート企業」をビジョンとし、引き続き「Reborn! ver. 2」をスローガンとした中期経営計画の達成に向け、各事業の拡大及び利益確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、卸売事業は売上伸長したものの6,748百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。損益面では、仕入価格や配送コストなどの運営コスト上昇の影響から営業利益は243百万円（同39.5%減）、経常利益は245百万円（同39.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は140百万円（同49.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益又は損失については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

#### (卸売事業)

卸売事業は、実店舗向けの販売では秋冬の気温が下がらず季節商品の動きが鈍かったものの、テレビショッピング向けの販売では主力となるサプリメントを中心にヘルスケア商品が好調に伸長し、売上拡大に貢献しました。一方で円安の影響や運営コストの増加などから原価率が上昇しました。

この結果、売上高は3,953百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益は327百万円（同±0.0%）となりました。

#### (小売事業)

小売事業では、創立40周年を記念したプロモーションや限定商品の発売などに注力したほか、カタログ通販の顧客開拓を積極的に進めました。また、オリジナル商品の品揃え拡大や販促効率の向上に努めました。EC領域では越境EC事業を行う2社からの事業譲受を行う等の投資を行いました。売上面では特にECモールでの競合出店社数の増加に伴う競争の激化や、中国向けEC事業の伸び悩みなどの要因により減収となりました。利益面では、仕入価格や配送コストなどの運営コストが上昇しました。

この結果、売上高は2,344百万円（前年同四半期比10.5%減）、セグメント損失は165百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント利益）となりました。

#### (プロパティ事業)

プロパティ事業では、袋井センター及び掛川センターの安定稼働に加え、名古屋センターでの新たな出荷代行の受注に注力しましたが、名古屋センターにて一部空床が発生したことにより減収となりました。利益面では光熱費や新規受託への対応に伴う運用コストが増加しました。

この結果、売上高は450百万円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント利益は76百万円（同19.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

財政状態の分析は、次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、8,651百万円(前連結会計年度末比83百万円増)となりました。

流動資産の増加(同2百万円増)は、主に現金及び預金が272百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が159百万円、商品及び製品が80百万円、その他が28百万円、仕掛品が11百万円増加したことによるものであります。

固定資産の増加(同68百万円増)は、主にのれんが47百万円、投資その他の資産のその他が16百万円増加したことによるものであります。

繰延資産の増加(同12百万円増)は、創立費及び開業費を計上したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、2,439百万円(前連結会計年度末比39百万円増)となりました。

流動負債の増加(同152百万円増)は、主に買掛金が164百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少(同113百万円減)は、主に長期借入金が89百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,212百万円(前連結会計年度末比43百万円増)となり、この結果、自己資本比率は71.8%となりました。

純資産の増加は、主に利益剰余金が29百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ236百万円減少し、2,360百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、133百万円(前年同四半期比37.3%減)となりました。

これは、主に法人税等の支払額159百万円、売上債権の増加額156百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益246百万円、仕入債務の増加額164百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、171百万円(前年同四半期比33.5%減)となりました。

これは、主に事業譲受による支出114百万円、有形固定資産の取得による支出65百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、206百万円(前年同四半期比11.3%減)となりました。

これは、主に配当金の支払額110百万円、長期借入金の返済による支出89百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の業績予想につきましては、2023年9月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年3月4日)公表いたしました「業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,624	2,352
受取手形及び売掛金	1,098	1,257
有価証券	53	53
商品及び製品	677	758
仕掛品	49	61
原材料及び貯蔵品	65	61
その他	158	186
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	4,716	4,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	686	676
土地	2,429	2,429
その他(純額)	122	130
有形固定資産合計	3,238	3,236
無形固定資産		
のれん	174	222
その他	74	70
無形固定資産合計	248	292
投資その他の資産		
投資有価証券	129	139
その他	235	252
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	364	391
固定資産合計	3,851	3,919
繰延資産	—	12
資産合計	8,567	8,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	484	648
1年内返済予定の長期借入金	105	99
未払法人税等	173	123
賞与引当金	52	49
役員賞与引当金	14	—
その他	492	554
流動負債合計	1,323	1,476
固定負債		
長期借入金	558	469
退職給付に係る負債	82	82
資産除去債務	72	72
その他	362	338
固定負債合計	1,076	962
負債合計	2,399	2,439
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	361	364
資本剰余金	331	334
利益剰余金	5,451	5,481
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,143	6,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	31
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益累計額合計	25	31
純資産合計	6,168	6,212
負債純資産合計	8,567	8,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
売上高	6,851	6,748
売上原価	4,487	4,501
売上総利益	2,364	2,247
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	678	698
貸倒引当金繰入額	1	4
賞与引当金繰入額	51	48
役員賞与引当金繰入額	6	△4
退職給付費用	11	12
その他	1,213	1,244
販売費及び一般管理費合計	1,962	2,003
営業利益	402	243
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
為替差益	—	1
その他	4	2
営業外収益合計	5	5
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	0	—
リース解約損	1	—
創立費償却	—	0
行政処分対応費	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	2
経常利益	405	245
特別利益		
補助金収入	19	—
保険解約返戻金	—	0
特別利益合計	19	0
税金等調整前四半期純利益	424	246
法人税等	148	106
四半期純利益	275	140
親会社株主に帰属する四半期純利益	275	140



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	275	140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	6
為替換算調整勘定	△4	0
その他の包括利益合計	△6	6
四半期包括利益	269	147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	269	147
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	424	246
減価償却費	55	55
のれん償却額	15	22
繰延資産償却額	—	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	△2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	△0
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	1	0
為替差損益 (△は益)	0	△1
補助金収入	△19	—
保険解約返戻金	—	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△61	△156
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△189	△86
仕入債務の増減額 (△は減少)	△19	164
その他	75	63
小計	290	291
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△96	△159
補助金の受取額	19	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	212	133
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△61	△18
定期預金の払戻による収入	12	26
投資有価証券の償還による収入	10	—
有形固定資産の取得による支出	△37	△65
有形固定資産の売却による収入	134	—
無形固定資産の取得による支出	△11	△12
事業譲受による支出	—	△114
繰延資産の取得による支出	—	△13
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△304	—
その他	0	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△258	△171
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△6
長期借入金の返済による支出	△121	△89
配当金の支払額	△110	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232	△206
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△279	△236
現金及び現金同等物の期首残高	2,313	2,596
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,033	2,360

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	プロパティ 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	3,769	2,619	79	6,468	—	6,468
その他の収益(注) 3	—	—	383	383	—	383
外部顧客への売上高	3,769	2,619	462	6,851	—	6,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	5	141	148	△148	—
計	3,770	2,625	604	7,000	△148	6,851
セグメント利益	327	1	95	424	△22	402

(注) 1. セグメント利益の調整額△22百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「小売事業」において、当第2四半期連結会計期間に株式会社オフィスサプライズの全株式を取得し、当社の連結子会社となったことから、のれん150百万円を計上いたしました。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	プロパティ 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	3,953	2,344	152	6,450	—	6,450
その他の収益(注) 3	—	—	298	298	—	298
外部顧客への売上高	3,953	2,344	450	6,748	—	6,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	7	109	117	△117	—
計	3,954	2,351	559	6,865	△117	6,748
セグメント利益又は損失(△)	327	△165	76	238	4	243

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「小売事業」において、当第2四半期連結会計期間に事業譲受によりのれん70百万円を計上いたしました。